

協力を依頼。

- ・5/11（日）街中ジオ散歩in Chiba「身近な地形・地質から探る稲毛海岸の歴史」の申し込みを4/15に締め切った。20名の応募があった。
- ・惑星地球フォトコンテスト第16回ほか入選作品展示会を東京パークスギャラリー（上野）で実施予定（5/13-25）。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

- 1) 利益相反マネージメント委員会（亀高）特になし
- 2) 若手育成事業検討WG（内野）特になし
- 3) 表彰制度検討WG（亀高）特になし
- 8. 理事会の下に設置される委員会
- 1) ジオパーク支援委員会（矢部）
・日本ジオパーク学術支援連合（JGASU）への学会選出委員について、委員の任期満了に伴い、天野一男氏（ジオパーク支援委員会委員長）を選出した旨報告（留任）。任期は2025年5月1日～2027年4月30日。
- 2) 地学オリンピック支援委員会（坂口）特になし
- 3) 支部長連絡会議（杉田）特になし
- 4) 地質災害委員会（松田）特になし
- 5) 名誉会員推薦委員会（星）本年度の推薦応募はなし
- 6) 各賞選考委員会（亀高）特になし
- 7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（山口）特になし
- 8) 法務委員会（亀高）特になし
- 9) 若手活動運営委員会（星）活動報告および今後の計画について理事会で説明予定。

9. 研究委員会

- 1) 南極地質研究委員会（委員長 大和田正明）特になし
- 2) 法地質学研究委員会（委員長 川村紀子；杉田）特になし

審議事項

- 1. 地質学雑誌等デジタルアーカイブ化について（尾上）
地質学雑誌のデジタルアーカイブ化に関して、1956～1983年の論文を対象に英語アブストラクトのテキスト化およびアーカイブ化を、1984～1998年の論文を対象に英語アブストラクトと日本語抄録のテキスト化およびアーカイブ化を行い、J-STAGE上に整備する方針が了承された。テキスト化にかかる費用については本年度予算に計上し、本日の理事会において審議・検討を進めることとなった。

- 2. 高等学校教科書（地学関係）に関する説明・意見交換会の開催について（星）
2025年熊本大会において、高等学校教科書（地学関係）に関する説明および意見交換会を、ランチョン等の形式で開催する方向で検討を進めることとなった。
- 3. 地球・資源分野JABEE委員会の事務局機能の引継ぎ（加藤）
JABEE委員会の事務局を地質学会事務局内に設置し、JABEEおよび構成学会との連携事務ならびに本委員会の運営事業を担う方向で検討を進めることとなった。活動の遂行に際しては、地質学会の財政や事務局への過度な負担が生じないよう、十分に配慮する。
- 4. シニア会員の活動について（杉田）
シニア会員が活躍できる場を創出・提供するため、今後、各担当業務部会において検討を進めることとした。
- 5. 理事会資料の確認（亀高）
議事次第ならびに報告事項・審議事項・審議資料の内容について確認を行った。

監事コメント

（岩部）本日の審議事項等に特段のコメントはなく、午後の理事会を経て総会に向けた準備を進めてほしいとの発言があった。

以上

2025年5月14日

一般社団法人日本地質学会
会長（代表理事）山路 敦
署名人 執行理事 亀高正男

2024年度 第12回執行理事会議事録

日程：2025年5月14日（土）18:30-00:00

【WEB会議】

出席：山路 敦、杉田律子、星 博幸、亀高正男、内野隆之、岩井雅夫、内尾（保坂）優子、大坪 誠、加藤猛士、小宮剛、坂口有人、高嶋礼詩、細矢卓志、松田達生、矢部 淳、山口飛鳥

監事：岩部良子

事務局 澤木

欠席：辻森 樹、尾上哲治、山本正司（監事）

*定足数（過半数：10）に対し、執行理事16の出席

*前回24-11議事録案は、本執行理事会にて承認された。

報告事項（理事会報告の確認）

- 1. 全体的報告
 - ・125周年記念出版物「はじめての地質学（2017年9月発行）」の増刷が決定した。6刷、500部。累計9200部。
- 2. 運営財政部会（加藤・細矢）
- 1) 総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集、連絡等>

- ・第68回粘土科学討論会（2025/9/10-12、産総研臨海副都心センター）への協力依頼があり、後援として承諾した。
- ・科学教育研究協議会第71回全国研究大会東京大会（2025/8/8-10、中央大学附属中学校・高等学校）への後援依頼があり、承諾した。
- ・2025年度日本地球化学会第72回年会（25/9/17-19、東北大学川内北キャンパス）への共催依頼があり、承諾した。
- ・京都大学工学部水曜会より「水曜会誌」休刊の連絡があった。

<会員>

- 1. 今月の入会者：正会員学生2名
正会員学生（3年バック（2名））
中澤栄子、石垣暁正
- 2. 今月の退会者：3名
正会員一般（3）
玄田貴之、松崎 西、固本悠杜
- 3. 今月の逝去者：1名
正会員シニア（1）
有川隆一（逝去日：2025年4月14日）
- 4. 2025年4月末会員数
賛助：37、名誉：34、ジュニア会員：6、正会員：3033〔内訳 一般954、シニア891、学生188〕 合計 3110（昨年比-2）

<会計>

・5/16の週に会計および業務監査を実施予定。

<その他>

- ・関東支部城ヶ島巡検（5/31-6/1）と清澄FC（8/25-30）への学生半額補助適用希望があった。
- 3. 広報部会（坂口・内尾・大坪・松田）
- 1) 広報委員会（坂口・内尾）
 - ・ジオルジュ 2025年前期号がまもなく発行予定。5月号ニュース誌と合わせて会員へ配布する。
- 4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）
- 1) 行事委員会（高嶋・山口）
 - ・2025熊本大会巡検のコース一部変更：Aコース（阿蘇火山：カルデラ形成噴火と後カルデラ活動、案内者 宮縁育夫・星住英夫）のコース内での小規模な変更が提案された。巡検費用については変更なし。（変更理由）露頭の状況が以前と変化しているのと、全体的な時間を考慮して、行程を変更する必要が生じた。
- 2) 専門部会連絡委員会（尾上）特になし
- 3) 国際交流委員会（辻森）特になし
- 4) 地質標準化委員会（内野）特になし
- 5) 学術戦略WG（尾上）特になし
- 6) ショートコースWG（山口）特になし
- 5. 編集出版部会（小宮・辻森）
- 1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

(1) 編集状況報告 (2025年5月13日現在)
・2025年投稿論文: 21 (昨年比-3) [内訳]
総説1 (和文1), 論説11 (和文10,英文1),
報告1 (和文1), レター 2 (和文2), ノー
ト1 (和文1), 巡検案内書6
査読中30, 受理済み6, 入稿・校正中1, 公
開12
2) Island Arc編集委員会 (辻森)
特になし
3) 企画出版委員会 (小宮)
特になし
6. 社会貢献部会 (矢部・岩井・坂口)
1) 地学教育委員会 (岩井)
特になし
2) 地質技術者教育委員会 (加藤)
特になし
3) 生涯教育委員会 (矢部)
特になし
4) 地震火山地質こどもサマースクール (岩
井)
特になし
5) 地質の日 (矢部)
・5/10 (土)「地質の日」オンライン一般講
演会を実施した。当日の同時接続者数は最
大203名, 5/13現在までで1500回以上の視
聴があった。講演時間の超過・調整が課題
となった。講演会に関するアンケート調査
を実施中。23日までにアンケートに答えて
いただいた方にデスクトップ壁紙のプレゼ
ントする。
・5/11 (日) 街中ジオ散歩in Chiba「身近な
地形・地質から探る稲毛海岸の歴史」を幕
張海岸で実施し, 19名の参加があった (1
名キャンセル)。概ね計画通りに実施でき,
参加者からも好評であった。リピーターが
一定数おり, 新しい層に情報が届けられて
いないことが課題と感じられた。また, 今
回のルートでは千葉県環境研究センターな
どとの連携についても今後の課題となっ
た。
・惑星地球フォトコンテスト第16回ほか入選
作品展示会を5/13より東京パークスギャラ
リー (上野) で実施中。
7. その他執行理事会の下に設置される委員会
及び組織

1) 利益相反マネージメント委員会 (亀高)
特になし
2) 若手育成事業検討WG (内野)
特になし
3) 表彰制度検討WG (亀高)
特になし
8. 理事会の下に設置される委員会
1) ジオパーク支援委員会 (矢部)
・委員会を中心に取り組んできた出版企画
「大地と人の物語—地質学でよみとく日本
の伝承」(創元社) が6月に発売される見込
み。
2. 地学オリンピック支援委員会 (坂口)
・日本地学オリンピック日本委員会より, 第
18回大会の地質分野問題作成委員の推薦
依頼があり, 会員1名を推薦した。
3) 支部長連絡会議 (杉田)
特になし
4) 地質災害委員会 (松田)
特になし
5) 名誉会員推薦委員会 (星)
特になし
6) 各賞選考委員会 (亀高)
特になし
7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会 (山
口)
特になし
8) 法務委員会 (亀高)
特になし
9) 若手活動運営委員会 (星)
・メーリングリスト的な会員同士で気軽な
コミュニケーションできる手段・ツールが
あると良いとの意見あり。
10) その他
特になし
9. 研究委員会
1) 南極地質研究委員会 (委員長 大和田正
明)
特になし
2) 法地質学研究委員会 (委員長 川村紀子;
杉田)
特になし

審議事項

1. 教科書シリーズの出版に向けた新事業につ
いて (提案) (星)
執行理事会として前向きに進めることが確認
された。教科書の内容については, 従来の基
礎学問以外に分析手法やGISも検討してはと
の意見があった。冊子体 (白黒) での出版を
予定しているが, 授業等での活用を考慮し,
カラーの電子データ版も併せて用意してほし
いとの要望が出された。
2. 2025熊本大会シンポジウム企画の有無につ
いて (高嶋)
執行理事会としてシンポを企画するか否かを
検討した。熊本地震関連のテーマ案等も検討
したが, テーマ設定や必要性を十分に議論・
検討する時間がないことや, 会場確保の問題
などもあり, 今回は見送ることとした。ただ
し, 今後, 執行理事会, 理事会として, 十分
に企画を練って外部にアピールする内容のシ
ンポジウムを企画することは, 重要である
との意見があった。
3. 2027つくば大会会場選定について (高嶋)
経費と利便性の観点から2027年大会は, つく
ば国際会議場を会場に採用することとした。
ただし, 現状案では広めの口頭発表会場が少
ないため, LOCに会場使用計画の再考を依
頼した。
4. AI利用に関する権利委託について (亀高)
地質学雑誌を始めとする学会の著作物をAI
の機械学習の用に供する際, 権利の管理を学
術著作権協会に委託することを承認した。

監事コメント

(岩部) 教科書シリーズの出版は, 学生のみ
ならず社会人にも最新知見を得る機会となる
ため, 是非, 時間をかけて進めて欲しい。再
来年度のつくば大会は, 今よりも費用がかか
ると思うが, 参加費も含め, 会員が満足でき
るようなものにして欲しい。

以上

2025年6月7日

一般社団法人日本地質学会

会長 (代表理事) 山路 敦

署名人 執行理事 亀高正男